



～社訓*誠意～

社長室だより



2019年8月末号

猛暑と言われた夏も終わりを迎えた。人間とは恐ろしく環境に順応する動物である。35度超えが2～3年続いたら今年は32度では少し涼しく感じたのは私だけ？ではない声がテレビでも街中の会話でも聞かれた。が1ヵ月半の夏の疲れがどっと出ることも有るのが9月。食中毒も起こりやすいと言うので本当に体調管理は引き続きしっかりしてほしい。前月に記載したように水分と適度な塩分・ブドウ糖を取り入れて首の後ろに氷枕を当てるもよし、シャワー浴でなく毎日湯船につかり、しっかり冷房で硬くなった筋肉や疲れをいやして！暑いのが嫌なら風呂からあがる前に水シャワーを掛けてほてりを涼めるのも良いと。(心臓に遠いところから水は掛けてね。ひざ下、足だけでも効果あり)そこで風呂上がりビールの量が増すのはNG！アルコール摂取量が多いと翌日の点呼で引っかかるだけでなく脱水、不眠、血圧上昇につながります。なにより注意力散漫になり事故を起こす要因に！事故を起こしたいと思う人はいなくても事故はふとした気のゆるみ安全確認不足で起きます。

13年前の8月9日早朝に我社は悲惨な死亡事故を起こしました。私は今でも当時の事を忘れる事はできない。いえ忘れてはならないと思っています。二人の前途有望な、そして晴れて婚姻を間近に控えていた美しい若者を一瞬の居眠りで奪った当社の乗務員は裁判の末、当時の最高刑3年の服役。毎日事故発生時間にお吊いをする日々だったそうです。

事故当日、私の携帯に電話をしてきて「事故を起こしました被害者は緊急搬送されました。仕事は全て終わっています。すみません」と話す電話からは救急車のサイレンが聞こえていた。

お二人と車の中にかわいがっていた子犬も一緒にほぼ即死。ご遺族の悲しみ、憤りは測り知れない。庭先で土下座もした。そんなことで許しを得るとは思っていない。できればボコボコに殴って頂き少しでも気が晴れるならと思った。私も子を持つ身。立場が逆だったら、、、13年間命日には花をたむけた。被害者への謝罪と従業員が犯した事を忘れず安全教育を怠らないためにも。毎年謝辞のお電話を頂き、そのお電話にいつも返す言葉がうまく言えない自分を恥じた。今年もお電話を頂き最後に「13回忌を迎えました。区切りですのでもう献花は無用ですよ。毎年きれいなお花をありがとうございました。」とやさしく言って下さった。感極まり泣きそうだった。

自分の行動はひょっとしたら自己満足で、お相手を苦しませていたのかもしれないとも思った。美談話をするつもりはない。むしろ逆だ。繰り返すが事故は起こしたいと思って起きるものではないが自分の感情、体調をコントロールしないと車は暴走する。「あおり」も事故と同じ。

人にやさしく寛容に、自分に厳しく規律を重んじ誠心誠意毎日を過ごしてほしい。事故を起こして得られる物は「負」「怒り」「憎しみ」「後悔」秋の名月に心静かに今一度己の行動を戒めよう



9月にお誕生日を迎える方 今月は一人!!



平塚・日通アディカ担当 油本 克 9月21日